

保護者様

丸子中央小学校長 吉澤 基

第2回 学校自己評価アンケートの報告と今後の取り組みについて

早春の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、「第2回 学校自己評価アンケート」および「第2回コミュニティスクール運営委員会」を受け、今後の取組について下記のように結果がまとまりましたのでお知らせいたします。アンケートの結果を受け、さらに子どもたちのために教職員一同努力して参ります。来年度も本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

学校評価アンケートの結果と今後の取り組み ～「できている」「ほぼできている」の割合をもとに～

1 学習面 ※児童・職員は「できている」「大体できている」の割合を第1回と比較しています

○授業が分かるように努力している	児童…93%(+2)	保護者…89%	職員…94%(-6)
○すすんで家庭学習に取り組んでいる	児童…87%(-2)	保護者…70%	職員…83%(-13)
○先生や友だちの話をよく聞いている	児童…94%(-2)	(項目なし)	職員…72%(-24)

<考察と今後の取り組み>

多くの子ども達が学習に対して意欲をもっていることがうかがえます。しかし、学年の諸検査等からは、思考力・表現力・判断力について課題となる部分が見られます。そのため、子どもにとって魅力的でわかりやすい授業に向けて、視覚的支援・具体的支援・肯定的支援を視点に、考え合う楽しさを味わうことのできる学習環境づくり、授業改善に取り組んで参ります。また、家庭学習の取り組みについては、個人差が見られます。学習の習慣づけや基礎基本の定着を着実に図るために家庭学習の重要性について継続的に指導して参りますので、ご家庭でもご協力いただけると幸いです。

2 生活面

○学校生活を楽しんでいる	児童…90%(+1)	保護者…91%	職員…94%(-2)
○すすんであいさつをしている	児童…85%(-3)	保護者…79%	職員…100%(+13)
○友だちのよいところを見つけ仲良く生活している	児童…92%(±0)	保護者…91%	職員…95%(-5)
○すすんで体を動かし運動している	児童…91%(+4)	保護者…72%	職員…89%(-7)
○時間いっぱいそうじに取り組んでいる	児童…91%(-2)	(項目なし)	職員…83%(-8)
○規則正しい生活をしている	児童…75%(-3)	保護者…45%	職員…83%(+9)

<考察と今後の取り組み>

あいさつの声は以前よりもよく聞かれるようになりました。今後は、自分からすすんであいさつをするという点をさらに高めていきたいです。様々な交流活動を通して、子ども同士が学び合ったり温かい言葉を掛け合ったりする姿が見られていますので、子どもたちのよい姿を認めていきたいです。ただ、ゲームやインターネット等をして過ごす子ども達が増えてきているので、生活に影響が出ないか心配されます。メディアコントロール週間や講演会等の機会を活用して、正しいメディアとのかかわり方について意識を高めていきたいです。ご家庭でもお子さんと話をしていただけるとありがたいです。

3 コミュニティスクール運営委員の皆様より

- ・西内小の校歌や金管、陶芸などを大切に活動や行事でやっていただき、とてもありがたいと感じた。
- ・子どもたちが、落ち着いて学校生活を送っていると感じた。挨拶がとてもよくできている。
- ・10年以上関わらせていただいているが、6年生の挨拶や姿が立派。学校が頑張っていると感じる。
- ・今日やることがわかりやすく板書されていたり、カードを使ってわかりやすく工夫されているクラスがあったり、性教育に丁寧に取り組まれたりしている姿があって、先生方頑張っているなど感じた。

保護者の皆様には、西内小と統合後（新生丸子中央小として）の取組や普段の授業、体験的な学習、行事等について、肯定的なお言葉をいただき、うれしく心強く感じました。一方で、改善すべきご意見もいただきました。学校全体で真摯に受け止め、来年度につなげたいと思います。また、体罰（叩くなど）についての報告はありませんでしたが、子どもへの言葉遣い等についてご指摘をいただきました。改めて職員で適切なかわり方について再確認し、改善して参ります。保護者の皆様には、様々な面でお支えいただきました。本当にありがとうございました。

来年度も、子どもたちが毎日元気に楽しく登校でき、そして保護者や地域の皆様にとって誇らしく思っただけのような学校を目指し、職員一丸となって取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

上田市立丸子中央小学校
教頭 宮田 宗人
担当 鮫島 光太郎
TEL：42-2112